

# 兵庫県フロン回収・処理推進協議会 平成 20 年度第 3 回企画委員会

と き 平成 20 年 12 月 16 日(火) 10:00 ~ 11:30

と ころ 兵庫県民会館 3 階 301 会議室

## 1 開会

## 2 議事

### (1) 平成 20 年度事業の実施状況について

#### 【普及啓発関係】

オゾン層保護・地球温暖化防止フォーラムの開催について

普及啓発用パンフレット等の作成・配布について

広報誌トライアングルの発行について

ひょうごエコフェスティバル'2008 への参画について

#### 【会員支援関係】

フロン回収・処理技術講習会の開催について

フロン回収行程管理票配付(無償)事業の実施について

事務局より内容説明。以下質疑応答。

#### 【意見・質疑】

(委 員) 技術講習会の出席者の「その他」とは、どういう人か。会員は会費を納めているのに、無料で受講させても良いのか。受講料を別途請求した方が良いのではないか。また、「その他」の受講者に対して当協議会加入の案内は行ったのか。

(事務局) 広い意味で、フロン回収の技術能力を高めて欲しく、今回の受講は認めた。ただ、会員との差はどこかで付けないといけないので、会員のみ受講修了証を発行するとした。この受講修了証は、兵庫県で第一種フロン回収業登録をする際必要となってくる資格の一つでもあり、非常に価値のあるものである。また、今回の技術講習会があるということで、急遽入会した会員もあり、未加入の者については、入会案内のパンフレットも配付している。

(委 員) 技術講習会には、行政の人にも是非参加してもらいたい。行程管理票の流れが複雑で、分らない人が多い。ゼネコンも会員となって元請けがきちりと説明すべきである。

(委 員) 行程管理票制度は、流れが複雑でもう少し簡素化してほしい。

(委 員) 行程管理票は、INFREP が作成しているものを使用しないといけないのか。今の時代なので、パソコンを使ってファイルをメールで送信し、該当箇所に記入してどんどん送信していけば良いのではないか。

(事務局) 自立法では既に電子化されており、ある程度は成功していると思うが、パソコンがあるという前提なので、まだ難しいと思う。

(委 員) パソコンは今の時代どこにでもあろうと思う。現に問題(流れが分かりにくい)が出ているので、電子化等検討していくべきである。また、行程管理票の配付上限は、20 枚から上げなくてもよいと思う。

#### 【その他】

HPによる情報発信等

ノンフロン製品普及推進展の開催について

事務局より内容説明。以下質疑応答。

#### 【意見・質疑】

(委 員) HPに専門委員会運営状況を載せるのなら、議事録も掲載してほしい。委員でない一般会員も議事録を見たらどのような意見が出ているのかが確認出来、みんなの意見を聞きやすいのではないか。

(委 員) 理事会のメンバーに企画委員会の内容を伝えているが、自分の言った内容等しか覚えていなく、簡潔にまとめた物があれば助かる。

(事務局) 議事録は少し難しいかもしれないが、要約版として、決定した内容や主な意見を箇条書き等でまとめて掲載しても良いかもしれない。ただ、掲載する前には、内容・表現について委員了解は得るようにする。

(委 員) 事務局の仕事ばかりが増えてしまって、本来の業務に支障が出ない程度でやっていただきたいが、こういう議事録作成等は、しっかりした会社に委託しても良いのではないか。アウトソーシングしても良いと思う。

(事務局) そういう考えを持っており、今回は技術講習会を兵冷工さんに委託させていただいた。

(2) 平成 20 年度事業の今後の予定について

普及啓発用パンフレット等の作成・配布について

平成 20 年度フロン回収・処理研修会の開催について

広報誌トライアングルの発行について

事務局より内容説明。以下質疑応答。

〔意見・質疑〕

(委員) フロン回収・処理研修会については、ゼネコン業界にも来てもらうようにしてほしい。

(事務局) 建設業協会さんに協力してもらい、案内するようにする。

(委員) 昔、フロン協でボンベをリースしていたが、フロン法が制定(H13.6)され、所有していたボンベは全て会員へ譲渡している。譲渡したと言ってもフロン協の刻印があり、そのボンベが出回っている。そのボンベがオークションで売られていたりしたら、譲渡したとは言え、関係ないとは言いきれないのではないか。ボンベの数は 100 本程度(100 件ではない)。トライアングルに掲載して追跡調査等行った方が良いのではないか。何か分からないことがあれば、相談してください。(兵庫県高圧ガス協同組合より)

(事務局) 詳細を調査し、対応等について検討する。

(3) 平成 20 年度収支見込みについて

事務局より内容説明。以下質疑応答。

〔意見・質疑〕

(委員) フロン協の会費を減らす訳にはいかないか。この業界は生き残るのが大変で、不況の世の中、会費 1～2 万円を払えないから脱会する人もいる。それなら、会費を少なくして、活動をコンパクトにしてもネットワークは残しておくべき。協議会の見極めは、会費の金額と会員へのリターンであると思う。

(事務局) 今年度は、会員の減少に歯止めをかけるべく会員への還元というところに主眼をおいて事業を展開した。その結果一定の成果もあがってきている。今後、そういったことも含め、協議会の運営について検討していきたいと思う。

3 その他

会員の入退会の状況について(状況報告)

事務局より内容説明。以下質疑応答。

4 閉会